KCCI NEWS 神戸商工会議所の動き

5-20

神戸アリーナ誕生がもたらす

ビジネスチャンス

神戸スポーツ産業懇話会 特別公開セミナー

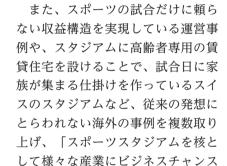
当商工会議所が事務局を務める神 戸スポーツ産業懇話会は、「神戸ア リーナ誕生がもたらすビジネスチャ ンス | をテーマに特別公開セミナー を開催した。

神戸アリーナは、神戸港の新港突 堤西地区第2突堤に2024年度のオー プンを目指して開発中の施設。プロ スポーツやコンサートなどの興行を はじめ、国際会議など多目的に活 用される。1万人規模の収容能力は、 兵庫県内では最大で、関西圏でも有 数の施設となる。バスケットボール 男子Bリーグ2部の「西宮ストーク ス」が同アリーナを本拠地とする方 針も発表されている。屋外にはイベ ントスペースや緑地なども整備され る。

セミナーでは、はじめにスポーツ ビジネスを通じた地域創生研究の ツ科学学術院教授の間野義之氏を迎え、 「スタジアム・アリーナを核とした地

間野氏は、2016年から2025年まで の10年間に、日本のスポーツ市場規模 を3倍の15兆円まで拡大させる政府方針 を紹介。その具体的施策の一つとして、 スタジアム・アリーナを核とした街づ くりの重要性を指摘した。特に、スタ ジアム単体の機能だけでなく、周辺の 公共施設や商業施設など、エリアマネ ジメントを含む複合的な機能を組み合 わせたサステナブルな交流拠点として スタジアム・アリーナを位置づける 「スマート・ベニュー®」の考え方が地

域活性化」をテーマに講演を行った。



が広がっている」と強調した。

続いて、神戸アリーナを運営する (株)One Bright KOBE代表取締役の 岩本健太郎氏が、神戸アリーナの具 体的な計画について紹介。岩本氏は 「興行のない日も賑わうエリアを創 造したい | と語り、アリーナ内施設 の充実はもちろん、周囲を海に囲わ れた神戸ならではの立地を生かした コンテンツ構想について説明した。

また、日本初の「社会課題解決ア リーナ」を目指し、環境問題への取 り組みのみならず、地域のウェルネ ス向上、スマートシティ推進、レジ リエンス強化にも寄与すると強調し、 地元神戸の企業にも積極的な関与を 呼び掛けた。

講演終了後のネットワーキングで は業種を超えた活発な交流が見られ た。参加者からは「神戸アリーナへ の期待が高まった」「今後のビジネ スへのヒントを得た | などの声が寄 せられた。



神戸アリーナ完成予想図(2021年4月時点)※変更となる場合があります